

令和5年度 さいたま市立本太小学校 第3回学校運営協議会 議事録

【日 時】 令和6年2月20日（火） 9時30分～10時45分

【場 所】 本太小学校 南校舎3階 コンピュータ室

【出席者】 常見 昌弘 玉川大学教職サポートルーム指導員
小畠 正大 本太小学校PTA会長
木寺 恒 本太中学校校長
並木恵美子 浦和区東部地区社会福祉協議会会長
金子 義人 スクールサポートネットワーク(S S N)委員長
田中喜代美 青少年育成本太小地区副会長
加藤 晴明 本太四丁目町会長
高村 達夫 本太公民館長
根岸 理恵 本太幼稚園副園長(本太小学校保護者)
千葉 裕 本太小学校長
平山 昂 本太小学校教頭
吉村 和仁 本太小学校教務主任
野口 英世 本太小学校学校地域連携コーディネーター

【欠席者】 吉野 浩一 浦和中学校・浦和高等学校長
向井 里美 主任児童委員

○運営協議会内容

司会：教頭 平山 昂

書記：学校地域連携コーディネーター 野口 英世

1 開会

2 校長挨拶

3 説明及び協議

(1) 学校評価の結果（児童・保護者・教職員）

- ・吉村教務主任より説明、質疑応答

(2) 学校自己評価システムシート

- ・千葉校長より説明、質疑応答

(3) 熟議『学校自己評価システムシートに基づいた今年度の取組について』

- ・4グループに分かれてグループ協議を実施

(主な話題)

- ・ICTは、子どもたちにとって「未来を拓く鍵」になる。
- ・タブレットの破損が多いという課題を受け、PTAの協力のもとタブレットケースの整備等を行ったが、引き続き、児童や家庭にタブレットの扱い方を周知するなどICT環境の整備に努めてほしい。
- ・ICTの授業での活用が増えている状況が見られるが、効果的な活用について

さらに研究を進めてほしい。

- ・登校時の児童のあいさつが以前よりも増えた気がする。これは「学校が楽しい」と感じる児童が多くなっていることと関わりがあるのではないか。
 - ・生徒指導・教育相談体制をさらに充実させてほしい。
 - ・子どもの安全を第一に考えた施設の修繕等が大切である。危険な施設は修繕ではなく、撤去を検討してもよいのではないか。
 - ・学校運営協議会を中心として、学校と地域との協働が進んでいるように感じる。
 - ・「大地震に対する備え」については、喫緊の課題であり、次年度は学校・家庭・地域で連携して進めていく必要がある。授業にも積極的に取り入れてほしい。
 - ・「地域を愛する子どもたち」をみんなで育成していきたい。
 - ・日々の業務に加え、自身の資質・能力の向上のために研修を実施されていることに敬意を表す。
 - ・今後の研修では、失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしてほしい。
 - ・教職員が研究に費やす時間を生み出すような工夫も大切である。
- (4) 次年度の学校運営に関する基本的な方針の説明及び仮承認
- ・千葉校長より説明、質疑応答
 - ・令和6年度学校運営に関する基本的な方針について満場一致で仮承認

4 諸連絡

- ・令和5年度卒業証書授与式・令和6年度入学式の御案内について
- ・令和6年度の学校運営協議会委員の委嘱について

5 閉会